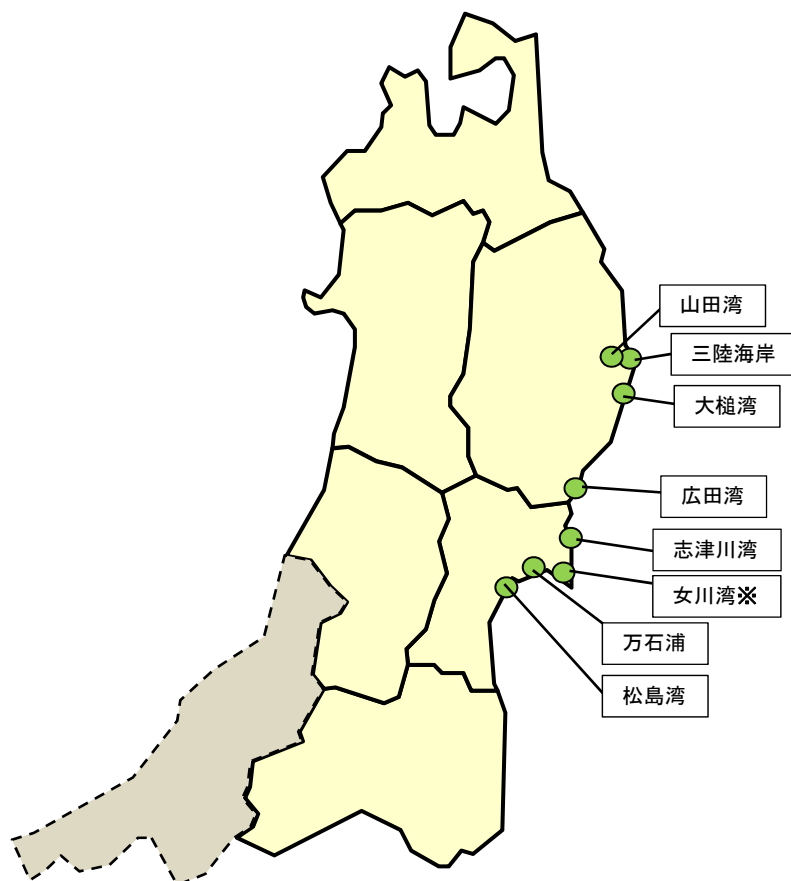


● 震災前後の東北地方太平洋沿岸域の藻場の状況について

東北沿岸域の藻場は、東日本大震災により大きく変化しました。

藻場の状況は、震災前については「第7回自然環境保全基礎調査 浅海域生態系調査（藻場調査）」（平成20年9月）、震災後については「平成24年度東北地方太平洋沿岸地域自然環境調査等業務（※1）」（平成25年3月）に、環境省自然環境局生物多様性センターがまとめています。

※1 この調査は、太平洋沿岸域のみを対象としています。



東日本大震災前後で藻場の状況を確認できる地点

※第7回自然環境保全基礎調査浅海域生態系調査（藻場調査）では、本調査地の「藻場の名称」を「仙台湾」と記載しています。しかし、仙台湾は、宮城県石巻市の牡鹿半島黒崎と福島県相馬市鶴ノ尾崎の間の湾を指す名称であり、実際の調査地は、宮城県牡鹿郡女川町の大貝崎と同町の赤根崎を結ぶ線及び陸岸によって囲まれた海域の「女川湾」の中にあるため、本調査ではサイト名を「女川湾」としています。（以上、平成24年度東北地方太平洋沿岸地域自然環境調査等業務報告書より抜粋。）

生物多様性センターHP <http://www.biodic.go.jp/>

（第7回自然環境保全基礎調査 浅海域生態系調査（藻場調査）報告書（H20）より）

グリーン復興プロジェクト しおかぜ自然環境ログ HP <http://www.shiokaze.biodic.go.jp/>

（平成24年度東北地方太平洋沿岸地域自然環境調査等業務報告書より）